

総評

国語がたいへん難しく、他の教科も全体に難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。得点に一喜一憂せず、入試に向けての課題ととらえてください。

今回の試験は、1年から2年の夏休み前までに学習した内容から広く出題されました。中1の後半に学習した内容があいまいになっている人も多かったのではないのでしょうか。道コンのような試験は、試験範囲が広いことが特徴で、これまで習った内容のあいまいな箇所を見つけるには最適のツールです。受験後の確認と直しによって、効率よく復習し、学習内容を定着させましょう。

2年生の夏休み以降は、勉強が急に難しくなる、差がつきやすくなるなどよく言われます。今回の結果が良かった人も油断せずに、集中して学習に取り組み、入試に向けての良いスタートをきってください。

国語

非常に難しい出題でした。全体的に記述問題の数が多く、問題の難易度も易しくなかったため、大問②以降、得点率が七割を上回る問題はありませんでした。

①は、(6)の得点率が低くなりました。入試では、日常会話では聞かないような言葉が出題されることがあります。本や新聞などを读んだり、ニュースなどを確認したりして、知識の範囲を広げておきましょう。②、③は、比較的よくできていました。④は、問四と問五の得点率が低くなりました。問五は、問題文で問われている内容を読み取ることができれば、そこまで難しくはない問題です。問題文からどのような形式で解答すればよいか、正確に読み取ることができるようになります。⑤は、問一と問五の得点率が低くなりました。問一は、基本的な問題の一つです。しっかり復習しましょう。

数学

標準的な出題でした。全体的に読解量が多かったため、後半の大問まで手が回らなかった人もいたようです。各大問の時間配分にも気を配りつつ取り組みましょう。

①はおおむねよくできていました。全て基礎基本の問題ですから、間違えた問題は必ず確認してください。②は度数分布表の読み取りでした。問2について、「相対度数を利用した説明を書き、…」という問題文の指定をよく読み、根拠を明らかにして説明しましょう。③問2は数の規則性について考える問いでした。出題頻度も高いため、パターンを定着させて(2)のような応用問題にも取り組めるようにしましょう。④、関数のグラフだけでなく、面積など他分野との融合問題にも慣れましょう。⑤、連立方程式や空間図形はつまづく人も多い単元です。不明点は早めに解消しましょう。

社会

やや難しめの出題でした。

地理分野では、①問5のケニアに関する問題の得点率が非常に低くなりました。ケニアについては、どの教科書も本文ではなく、コラムに出ている内容です。最近の高校入試では、教科書の細かい内容も出題されているので、コラムや資料等も確認するようにしましょう。

歴史分野では、2年生になってから学習する⑦が、並べかえ問題を含め、比較的よくできていました。一方で、⑤問3(2)の国風文化に関する問題は、完全解答ということもあり得点率が低くなりました。文化に関する問題を苦手とする人は多いので、間違えてしまった人は、時代ごとに文化の名称、代表的な建築物や文学作品などをまとめて整理しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①は、問題自体は基本的な内容が多く出題されました。間違えたところは確認してください。②は、問2(2)と(3)の得点率が低くなりましたが、この単元の重要な内容です。しっかり復習しておきましょう。③は、問3と問5の得点率が低くなりました。問3の考え方は身に付けておきたいところです。④の問4は、思考力が必要とされたこともあり、非常に難しかったようです。①～④は1年生で学習した内容です。学び直す機会が多くありませんので、模試などをうまく利用して復習しましょう。2年分野の⑤～⑧は学習した直後ということもあり、よく出来ているものが多くなったようです。今のうちに復習して忘れないようにしっかりと定着させ、2学期からの学習に備えましょう。

英語

やや難しい出題でした。

①のリスニングでは、問題によって得点率に差が出ました。問4のイラスト問題では、He drinks ～.と現在形で答えたり、He is drinking ～.と現在進行形で答える答案が目立ちました。英文の形には注意しましょう。

②や③の長文問題は、英文の内容は比較的よく理解できたようですが、2年生で学習する文法でのミスが目立ちました。覚えているつもりでも、出題形式が変わると答えられないことがあります。未来形、過去進行形、接続詞のbecauseやifなど、苦手な内容や分野がある場合は重点的に復習しましょう。

④の選択問題は、問題によって得点率に差が出ました。和文英作の問題は教科書に似たような例文がありません。教科書で内容をよく確認しましょう。